

鷹が舞い 雲と虹が描く 神秘の山 山本山高原



編集・作成：山本山ネイチャーアカデミー
info.yamamoto.n.a@gmail.com

山本山高原は、雲と虹の名所でもあります。
冷え込んで晴れた秋の早朝には、とても美しい現象を見ることができます。

虹 (レア度 ★★)



秋よりも夏の夕立の後によく見ることができます。
運がよければ写真のような2本目の虹、副虹も見ることができます。

雲海 (レア度 ★★) 秋の早朝



山本山高原周辺は、冷え込みが激しくなる秋の晴れた早朝に霧が発生します。また、霧が滞留しやすい地形のため、あたり一面を覆う雲海になります。山本山の魅力ある絶景です。

ブロッケン現象 (レア度 ★★★) 秋の早朝



雲海を見ている時に雲が上がってきて、霧深くなったら、太陽の反対側に注目してみましょう。霧に自分の影を当てることで影の周りに虹色の光輪が見える、ブロッケン現象を観察することができるかもしれません。雲海よりも観察することが難しい、とても貴重な現象です。

白虹 (レア度 ★★★★) 秋の早朝



ブロッケン現象同様に、周辺が霧深くなることで観察することができます。雨粒より小さい霧の粒に、太陽の光が通過することで、白い虹となります。ブロッケン現象以上に見ることが難しい、貴重な現象です。

Yamamotoyama
Nature Academy

鷹の渡り

山本山高原は9月中旬～11月上旬にかけて、多くの鷹が南へ渡っていきます。条件の良い日は1日500羽以上の鷹が舞うことも・・・秋の山本山で舞う鷹を紹介します。

サシバ（観察できる時期 9月中旬～下旬）



ハチクマ（観察できる時期 9月中旬～下旬）



ツミ（多く観察できる時期 9月中旬～10月中旬）



ノスリ（多く観察できる時期 10月中旬～11月上旬）



ミサゴ



トビ



ハヤブサ



鷹の渡り・多くの鷹が舞う条件

①9月中旬～11月上旬くらいまで

（ただし、時期によって見ることができる鷹の種類が変わります）

②雨が降った翌日か翌々日の晴れた日

③午前中（9時～12時くらいまで）

※雨天・曇天ではほとんど飛びません。

※条件の良い日でも出現しない場合があります。

鷹柱の詳細な映像はこちらから →

